

平成30年度水質事故発生状況

第1四半期発生状況

発生日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因者	事故の概要
月	日				魚死亡	油浮遊	その他		
6	7	金目川	善波川	伊勢原市 秦野市	○			市民から伊勢原市環境対策課(市)に、「善波川に魚が大量に死んでいる」と通報があった。市、秦野市環境保全課及び湘南地域県政総合センター環境保全課が現場確認を行ったところ、アユ、オイカワ、ヨシノボリ等が死んでいることを確認した。河川の濁りや臭気等は認められなかった。出口橋から下流側ではアユを主体として、約300匹の死亡が確認された。内水面試験場が死亡したナマズの検体分析を実施したが、死亡原因の特定はできず、また、県土木が死亡魚の回収を行った後、新たな魚死亡が認められないことから、原因不明で対応を終了した。	
6	7	金目川	水路	平塚市	○			市民から平塚市環境保全課(市)に、裏の水路に魚が死んでいると通報があった。市が現場確認を行ったところ、小魚が数匹死亡しているのを確認した。市が通報者に確認したところ、魚の死亡を最初に確認したのは通報の2日前であり、その時が一番死亡魚が多かったとのこと。現場確認により新たな魚の死亡が確認されず、河川に異常がないことから、原因不明で対応を終了した。	

第2四半期発生状況

発生日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因者	事故の概要
月	日				魚死亡	油浮遊	その他		
7	14	相模川	目久尻川	座間市	○			市民から座間市環境政策課(市)に、「目久尻川上流の小池仲橋で魚が死んでいた。」と通報があった。市が現場確認を行ったところ、小池仲橋から角ノ橋にかけてアユの稚魚150匹以上の死亡が確認された。市が行った簡易水質検査結果では異常は見られなかった。またコイや他の小魚の生存を確認した。県水産技術センター内水面試験場の職員も現場確認を行い、死亡したアユは腐敗が進んでおり、当日死んだようではないとのことであった。厚木土木事務所東部センターは死亡魚の回収を行った。後日、県央地域県政総合センター環境保全課が現場確認を行ったところ、死亡魚はなく、他の魚の生存を確認した。本件、死亡したアユの稚魚が回収され、他の魚の生存が確認されたことから、原因不明で対応を終了した。	
8	3	葛川		大磯町	○			住民から湘南地域県政総合センター環境保全課(湘南C)に、「町職員とイベント準備のために葛川に来たところ、大磯ロングビーチ橋下流あたりでアユが100匹以上死んでいる。」と通報があった。湘南Cが現場確認を行ったところ、15cm以下の小魚が100匹以上死亡していることを確認した。町が死亡魚を回収するとともに、県土木事務所も回収を行った。死亡から時間経過している個体が多く、また、周辺事業所に対しヒアリングを行ったが、魚死亡の原因特定には至らなかった。本件、死亡魚の回収が完了し、河川水質に異常がないため、対応を終了した。	
8	23	金目川(乙)	三沢川	大磯町	○			町民から大磯町下水道課を通じて環境課(町)に、「三沢川で小魚が死んでいる。」と通報があった。町が現場確認を行ったところ、三沢橋交差点の下流で小魚が100匹以上死んでいることを確認した。湘南地域県政総合センター環境保全課(湘南C)も現場確認を行い、魚死亡、川の濁り及び油膜を確認した。湘南Cが簡易分析を行い、有害物質等は確認されなかったが、河川水は洗剤のにおいがし、ぬめり感も確認した。湘南C及び町が河川に流入する側溝沿いの事業所にヒアリングを行ったが、原因特定には至らなかった。後日改めて現場確認を行ったところ、死亡魚は確認されず、白濁も痕跡程度となっていた。本件、白濁が解消され、死亡魚が確認されなくなったため、対応を終了した。	
9	3	相模川(乙)	小出川(千の川)	茅ヶ崎市	○			市民から茅ヶ崎市保健所衛生課および同市下水道河川管理課(市下水)に、「水路で魚が大量に死んでいる。」と通報があり、同市環境保全課(市保全)に連絡した。市保全が現場確認を行ったところ、千ノ川に流入する水路でフナ等の小魚が1000匹以上死亡していることを確認した。塩素臭がしたため、水質の簡易検査を行ったところ遊離残留塩素が1mg/L検出されたが、水路の周辺調査では原因特定には至らなかった。死亡魚の回収は市下水が対応した。後日、市保全が現場確認を行い、新たな死亡魚は確認されず、水質に異常が認められなかったため、原因不明で対応を終了した。	
9	11	金目川(乙)	板戸川	伊勢原市	○		事業者	市民から伊勢原市下水道課(市)に、「板戸川でアユが死亡しており、河川も白濁している。」と通報があった。市が現場確認を行ったところ、アユの死亡約30匹と雨水幹線内に多量の灰濁沈殿物を確認した。市が上流側を調査した結果、生コン製造業者からの高アルカリ排水によるアユ死亡の可能性があると推察された。湘南地域県政総合センター環境保全課と市により立入検査を実施し、原因事業者に対し、雨水管内の清掃を指導した。本件、指導により再発防止対策が確認され、魚の回収も終了したため、対応を終了した。	

第3四半期発生状況

発生日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因者	事故の概要
月	日				魚死亡	油浮遊	その他		
10	17	東京湾		三浦市	○			不明	三浦市土木課から同市環境課（市）に、「菊名橋で魚が死亡している。」と通報があった。市が現場確認を行ったところ、菊名橋で死亡魚（ハゼ、ウナギ）を確認した。さらに下流側の河口付近にかけて点々と死亡魚が40～50匹確認された。農産物出荷場及びその上流側では異状は確認されなかった。また、仲川橋及び菊名橋で魚の生存を確認した。菊名橋における簡易水質分析では異常は見られず、着色や悪臭等の異常は確認されなかった。本件、新たな魚死亡がなく、水質に異常が見られないため、原因不明で対応を終了した。
11	2	相模川（甲）	鳩川	座間市	○			不明	市民から座間市環境政策課（市）に、「鳩川で魚が大量（50匹程度）に死んでいる。」と通報があった。市が現場確認を行ったところ、広範囲に渡って小魚やカニの死骸が点在していることを確認した。市が採水し簡易分析を行ったが、異常は見られなかった。死亡魚の回収は県土木事務所が行った。後日改めて、市が現場確認及び河川水の簡易分析を行い、異常が認められなかったため、原因不明で対応を終了した。

第4四半期発生状況

発生日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因者	事故の概要
月	日				魚死亡	油浮遊	その他		
2	13	金目川（甲）	水無川	秦野市	○		○	事業者	秦野市職員が市内今川町付近の水無川で着色と魚の死亡を確認したため、同市環境保全課（以下、市）が現場確認を行ったところ、現場付近の水無川で黄色い水の滞留及び魚の死亡を確認し、死亡した魚を回収した。さらに付近の解体現場で散水により溜まった黄色の水を水無川に流したことが判明したため、原因者（解体工事元請業者）に対して水無川の黄色い水の回収と解体工事現場内の溜まり水の適正処理を指導した。その後、原因者が実施した回収措置の状況や処置後の現場水質に問題ないことが確認されたため、対応を終了した。
3	29	金目川（乙）	渋田川	伊勢原市	○		○	不明	市民から伊勢原市（以下、市）の渋田川にて魚死亡があるとの通報があった。市が現地確認を実施し、多数の死亡魚と河川の茶濁を確認した。水質検査で強アルカリ性であることが確認され、上流部の雨水幹線において泥状の沈殿物が確認されたため、上流部の事業場に立入検査を行ったが、原因の特定には至らなかった。死亡魚の回収を行った後、新たな死亡魚が発生しなくなったため、原因者不明で対応を終了した。